



“讃” 平和を讃えて

広島交響楽団

第401回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 401st Subscription Concert

指揮
下野竜也
Conductor
Tatsuya Shimono

ハープ
吉野直子
Harp
Naoko Yoshino

ヴァイオリン
徳永二男
Violin
Tsugio Tokunaga

©Naoya Yamaguchi

©Akira Muto

©ヒダキトモコ

2021.3.11 (木)

18:45開演 [17:45開場]
Thu Mar 11, 2021 Start 18:45 [Open 17:45]

2020年6月13日に予定しておりました
「第401回定期演奏会」を延期開催いたします。

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)

S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広警事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/会員先行発売2月8日(月)(9:00~広警事務局のみ)一般販売2月12日(金)

モーツァルト:ディヴェルティメントへ長調 K.138
Mozart: Divertimento in F major K.138

ニーノ・ロータ:ハープ協奏曲
Nino Rota: Harp Concerto

バーバー:弦楽のためのアダージョ
Barber: Adagio for Strings

コルンゴルト:ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品35
Korngold: Violin Concerto in D major Op.35

※当初予定のプログラムから曲目、出演者が変更となっております。

コンサートマスター:佐久間聡一
Concertmaster: Soichi Sakuma

プレイガイド

ローソンチケット(Lコード:62791)・チケットぴあ(Pコード:192-713)・広警事務局

主催 | 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 |



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛 | 広島トヨペット

後援 | 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※当公演では一部の席を除いて全席販売いたします。

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。



広警公式ホームページ▶

beyond
2020

お問い合わせ | 広警事務局 TEL:082-532-3080
HP: <http://hirokkyo.or.jp>



【指揮】 下野 竜也 Conductor / Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)。

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内では、定期的にNHK交響楽団定期公演に招かれる他、国内主要オーケストラに客演し、コンサート、放送などに登場している。また、国外ではコンクール優勝後、ローマサンタチェチリア管、ミラノ・ヴェルディ管、チェコフィル、プラハフィル、シュツェットガルト放送管、南ドイツ交響楽団、オーストリア室内管、ボルドー・アテキヌ管、ロワール管、コートダジュール・カンヌ管、ストラスブル管、クラコフフィル、シンフォニア・ヴァルソビア、バルセロナなどを指揮。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任。2002年出光音楽賞、渡邊曉雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

NHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

公式ホームページ <https://www.tatsuyashimono.com/>



【ハープ】 吉野 直子 Harp / Naoko Yoshino

ロンドン生まれ。6歳よりロサンゼルスにて、スーザン・マクドナルド女史のもとでハープを学ぶ。1981年第1回ローマ国際ハープ・コンクール第2位入賞。1985年第9回イスラエル国際ハープ・コンクールに参加者中最年少で優勝。

これまでに、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、チューリッヒ・トーンハレ管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、フィルハーモニア管、フィラデルフィア管、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスなどのオーケストラや、アーノンクール、メータ、ブーレーズ、プロムシュテット、メニューイン、小澤征爾など国内外の著名オーケストラや指揮者と共演を重ねている。リサイタルもニューヨーク、ウィーン、ロンドン、東京など世界各地で開催、また、ザルツブルク、ルツェルン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、マールボロ、セイジ・オザワ松本フェスティバルなど、世界の主要音楽祭にも度々招かれ、常に好評を博している。室内楽の交流も幅広く、クレーメル、ハーゲン、今井信子、ニコレ、ランパル、シュルツ、パユ、バボラークなどと共演を重ねてきた。レコーディング活動も活発でこれまでに多数録音、最新盤は「ハープ・リサイタル6-トウルニエ・エルニエ・カプレ・カゼッラ・サルツェード・フォーレ」(grazioso)。

1985年アリオン賞、1987年村松賞、1988年芸術祭賞、1989年モービル音楽賞奨励賞、1991年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン女性芸術賞をそれぞれ受賞している。国際基督教大学卒業。

公式ホームページ <http://www.naokoyoshino.com/>



【ヴァイオリン】 徳永 二男 Violin / Tsugio Tokunaga

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。

ヴァイオリニストの父茂および鷺見三郎氏に師事。桐朋学園にて、齋藤秀雄氏に師事。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。1968年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・ジュヴァルベ氏に師事。

1976年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。その後首席第一コンサートマスターを経て、ソロ・コンサートマスターの重責を担い、長年NHK交響楽団の“顔”として抜群の知名度と人気を誇る。

NHK交響楽団在籍時代よりヨーロッパ、アメリカ各地から招かれ、とりわけ、ケルンでの現代音楽祭、ベルリンの日独センター柿落とし公演での、ヴォルフガング・サヴァリッシュ氏との室内楽コンサート、ニューヨークのカーネギーホールでの室内楽コンサートに出演して絶賛を博した。

1994年にNHK交響楽団を退団し、ソロ、室内楽に専念。

1992年より鎌倉芸術館ゾリスを主宰し、1995年から2013年までJTアートホール室内楽シリーズの音楽監督を、1996年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務めるなど、日本音楽界の中心的立場を確固たるものとしている。

ソリストとしても、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など、国内外の主要オーケストラからたびたび招かれている。2008年から毎年、東京でリサイタル・シリーズを行う一方で、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。

2015年は、ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリンコンクールの審査員を務めた。

2016年には、楽壇生活50周年を迎え、多くの記念公演を行い、文化庁長官表彰も受ける。

近年は指揮者として、東京フィル、広島響、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。2018年には、ギドン・クレーメルをソリストに迎え、クレメラータ・バルチカと広響の合同オーケストラを指揮して好評を博した。

CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、パガニーニのカプリースなどをリリースしており、最新盤は「徳永二男 プレイズ R.シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ」(オクタヴィア・レコード)。

桐朋学園大学特任教授。

広響の新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき平熱と比べ高い発熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。



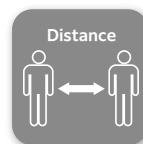
会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内での不要な会話は控え、演奏後の「ブラボー」などのお声かけもおやめください。



入場時、トイレなどは間隔を空けてお並びいただくようお願いいたします。